愛知東邦大学　シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	【併用】子ども家庭福祉		
担当者(Instructors)	伊藤 龍仁	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

現代社会における少子化や子ども虐待問題等を取り上げ、子ども家庭福祉の現状と課題、及びその動向を把握する。また、子ども家庭福祉の意義と歴史的変遷を学び、子どもの権利と人権擁護、子ども家庭福祉の制度や実施体系等を理解する。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	授業の冒頭で前回授業で回収したシート、及び小テストを返却し、コメントを加えてフィードバックを行う。同時に授業用のアクション・シートを配布し、「今日の目標」と各自の「関心」を記述させる。その後、テキスト及び配布資料に基づき、ディスカッションとディベートを取り入れた講義形式で60分程度授業を行う。最後に10分程度の時間を使い、テーマを示してブリーフ・レポートを記述させるとともに、理解度の自己評価をさせて提出させるする。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	子ども家庭福祉を学ぶために 子ども家庭福祉の視点	子ども家庭家庭福祉を学ぶためにオリエンテーションを行う。講師の経歴と自己紹介を通して子ども家庭家庭福祉の実践の一端を紹介する。	□
第2回	現代社会と子ども家庭福祉	現代の①少子化②子どもの貧困③子ども虐待④自死の問題を取り上げる。	□
第3回	子ども家庭福祉の基礎概念	子ども家庭福祉とは何かについて、キーワードや社会福祉制度から整理する。	□
第4回	子ども家庭福祉の歴史１　古代から近代までの前史と先駆的な実践	日本の子ども家庭福祉の歴史として、古代からの前史を踏まえ、戦前の先駆的実践までを概観する。	□
第5回	子ども家庭福祉の歴史２　戦後子ども家庭福祉の歴史と現状	日本の子ども家庭福祉の歴史として、戦後史を整理する。	□
第6回	子ども家庭福祉の世界史　欧米諸国の歴史	日本の子ども家庭福祉に大きな影響を与えているイギリスの児童福祉を中心にその歴史を概観する。	□
第7回	子ども家庭家庭福祉の理念と子どもの権利・国連子どもの権利に関する条約	子ども家庭福祉の理念と価値に触れながら、子どもの権利保障に関する歴史を概観し、国連子どもの権利に関する法律を取り上げる。	□
第8回	子ども家庭家庭福祉の法制度１　児童福祉法	児童福祉法の全体像とポイントを整理する。	□
第9回	子ども家庭家庭福祉の法制度２　児童虐待の防止等に関する法律・児童扶養手当法・母子保健法など	児童虐待の防止等に関する法律、児童扶養手当法、特別児童扶養手当に関する法律、母子保健法、母子及び寡婦福祉法、児童手当法等を取り上げる。	□
第10回	子ども家庭家庭福祉の実施体制	子ども家庭福祉の実施体制の全体像を整理するとともに、児童相談所について理解する。	□
第11回	子ども家庭家庭福祉の施設と事業	児童福祉施設と児童福祉事業を取り上げて整理する。	□
第12回	保育・児童健全育成・一人親家庭福祉・母子保健のサービス	保育サービス、児童健全育成サービス、一人親家庭福祉サービス、母子保健サービスを取り上げて整理しながらその実際の一旦を知る。	□
第13回	社会的養護・障害児福祉のサービス	社会的養護サービス、障害児福祉サービスを取り上げて整理しながらその実際の一旦を知る。	□
第14回	子ども家庭家庭福祉の仕組みと財源・担い手	子ども子育て支援制度を含む措置制度からの移行を概観して整理するとともに、子ども家庭福祉の仕組みと財源を学ぶ。また、担い手と資格制度を取り上げる。	□
第15回	まとめと到達度の確認	全体のまとめと到達度の確認を行なう。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

授業テーマに関する新聞記事や予習資料と該当するテキスト頁をよく読み、わからない箇所に下線を引きながらノートにまとめる事前学習を２時間程度行う。 授業後には、使用した配布資料・アクションシート・小テスト等はすべてポートフォリオに整理するとともに学習の要点をノートに整理する事後学習を２時間程度行う。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

授業で使用するブリーフレポートは回収後、評価を入れて次回授業時に返却する。小テストは採点後に返却し、模範解答を解説する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019子ども発達DP1	保育士資格に必須の資質と知識を身につけられたか。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019子ども発達DP2	現代の児童福祉現場に存在する多様な問題や課題に正面から向き合うことのできる力強い思考力・判断力を習得できたか。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
		0%	10%	90%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

小テスト　70%
提出物　20%

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	『みらい☒　子どもの福祉ブックス　子ども家庭福祉』（株）みらい	9784860154998
2	『保育福祉小六法』（株）みらい	9784860155025
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		